

平成 26 年度霞ヶ浦の水質概況について

平成 27 年 7 月 21 日 (火)
生活環境部 環境対策課

1 湖内の状況

- ・CODは、全水域平均で 7.0 mg/L となり、湖沼水質保全計画の目標である 7.4mg/L を 2 年連続で下回った（表 1・図 1）。また、平成 25 年度（6.8 mg/L）と比較すると 0.2 mg/L 高くなった。
- ・全窒素は、全水域平均で 1.2 mg/L となり、平成 25 年度（1.3 mg/L）より 0.1 mg/L 低くなった。年ごとに変動があるものの、近年は横ばいである（表 2・図 2）。
- ・全りんは、全水域平均で 0.090 mg/L となり、平成 25 年度（0.089 mg/L）より 0.001 mg/L 高くなった。近年は若干上昇傾向にある（表 3・図 3）。
- ・CODは、平成 26 年度も平成 25 年度と同様に低水準で推移しており、夏に高く冬に低い季節変動を示していた（図 4）。

表 1 湖内のCODの年間平均値 (mg/L)

水域/年度	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	目標 (H27)
西 浦	7.6	8.2	8.5	8.4	9.3	8.2	8.1	7.5	6.6	6.6	7.3
北 浦	7.7	8.4	9.5	9.3	10	9.1	8.0	8.3	7.3	7.5	7.6
常陸利根川	7.4	8.1	8.8	8.7	9.3	9.2	8.5	8.0	6.7	7.3	7.6
全水域平均	7.6	8.2	8.8	8.7	9.5	8.7	8.2	7.8	6.8	7.0	7.4

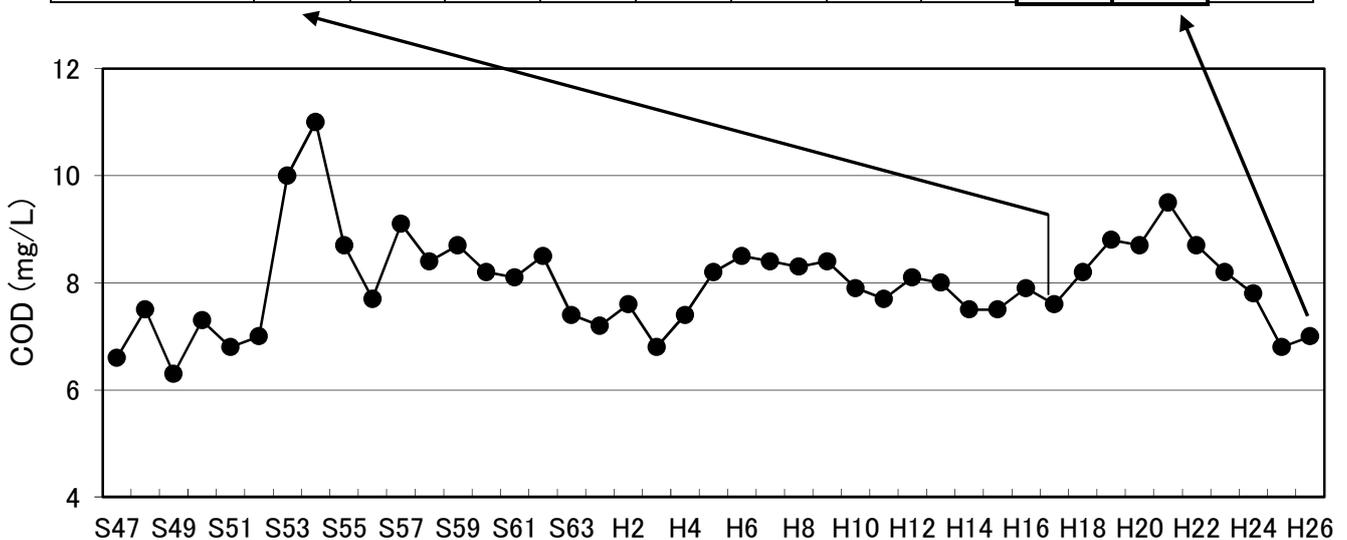


図 1 湖内のCODの推移 (全水域平均)

表2 湖内の全窒素の年間平均値

(mg/L)

水域/年度	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	目標 (H27)
西 浦	1.1	0.99	1.1	1.4	1.2	1.3	1.2	1.0	1.3	1.2	1.1
北 浦	1.1	0.93	1.2	1.3	1.2	1.6	1.6	1.2	1.4	1.4	0.99
常陸利根川	1.0	0.83	1.1	1.2	0.96	1.1	0.93	0.91	1.1	1.1	0.89
全水域平均	1.1	0.93	1.1	1.3	1.1	1.3	1.2	1.0	1.3	1.2	1.0

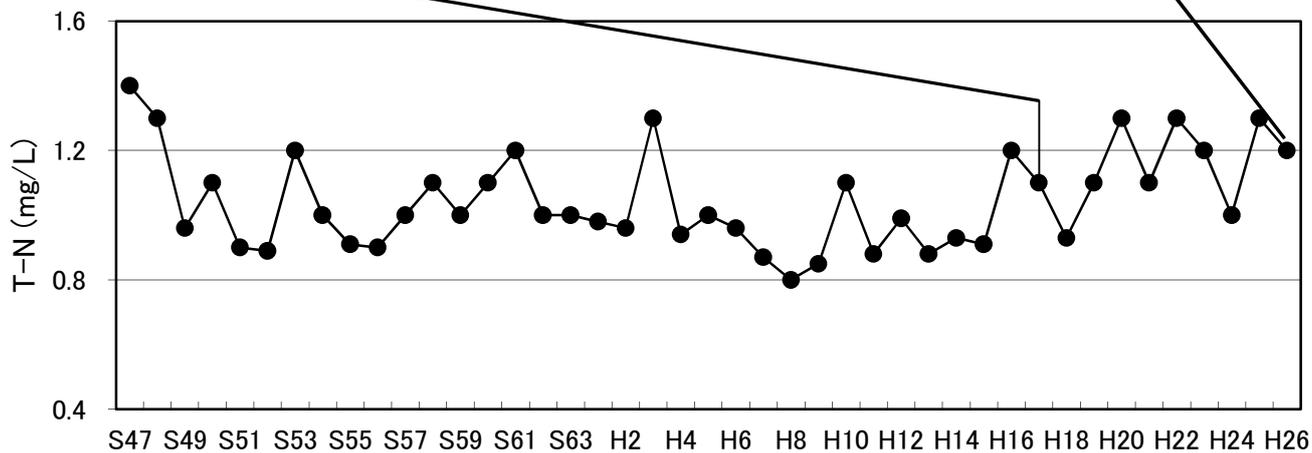


図2 湖内の全窒素の推移（全水域平均）

表3 湖内の全りんものの年間平均値

(mg/L)

水域/年度	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	目標 (H27)
西 浦	0.11	0.10	0.10	0.11	0.099	0.090	0.076	0.084	0.086	0.085	0.088
北 浦	0.092	0.11	0.13	0.16	0.12	0.13	0.093	0.090	0.11	0.096	0.096
常陸利根川	0.093	0.096	0.11	0.12	0.096	0.10	0.081	0.080	0.078	0.092	0.072
全水域平均	0.10	0.10	0.11	0.12	0.10	0.10	0.081	0.084	0.089	0.090	0.084

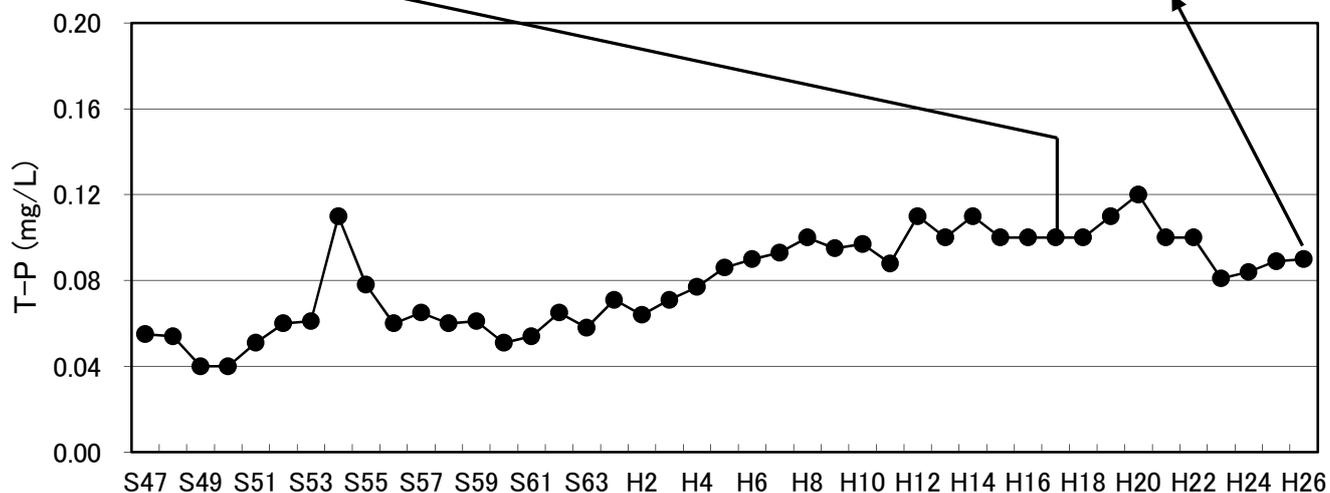


図3 湖内の全りんものの推移（全水域平均）

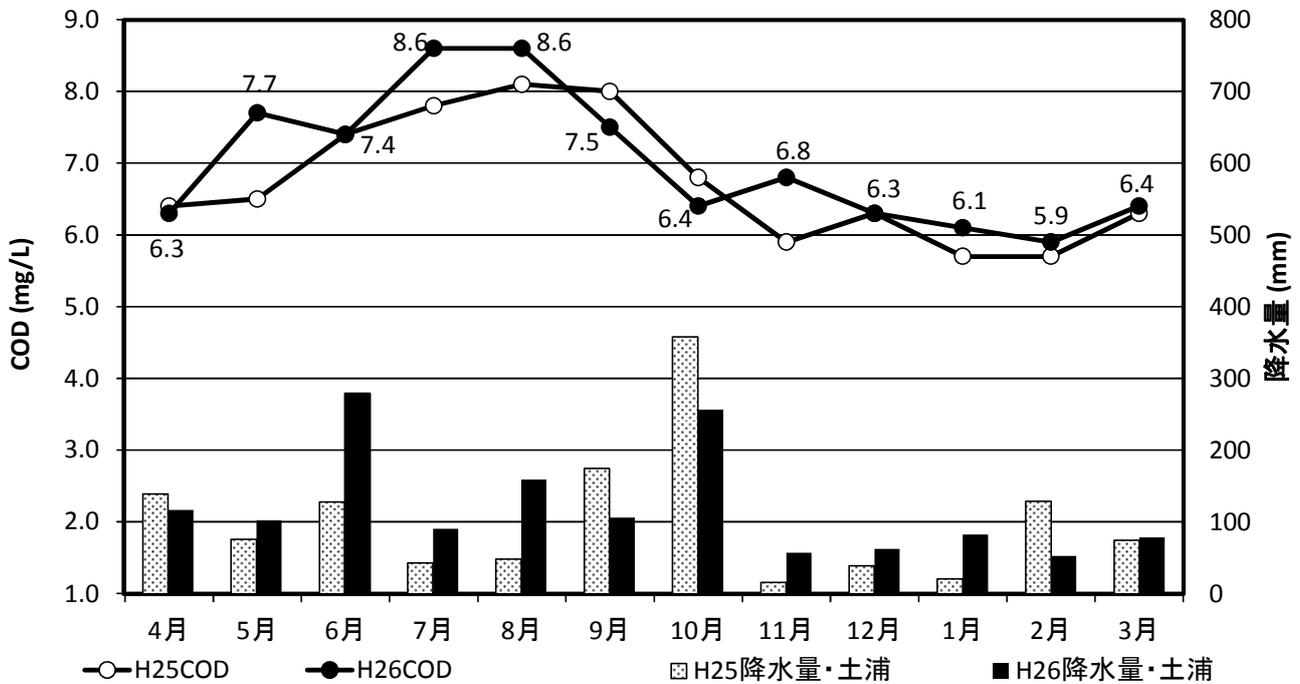


図4 霞ヶ浦のCODの経月変化と月別降水量（土浦）

2 流入河川の状況

- ・CODは、西浦及び北浦流入河川ともに、長期的には低下傾向にあるが、近年は横ばいである（図5）。
- ・全窒素は、西浦流入河川では長期的に横ばいである。また、北浦流入河川では上昇してきたが、近年は低下傾向にある。（図6）。
- ・全りんは、西浦流入河川では長期的には低下傾向にあるが、近年は横ばいである。また、北浦流入河川では長期的に横ばいである（図7）。

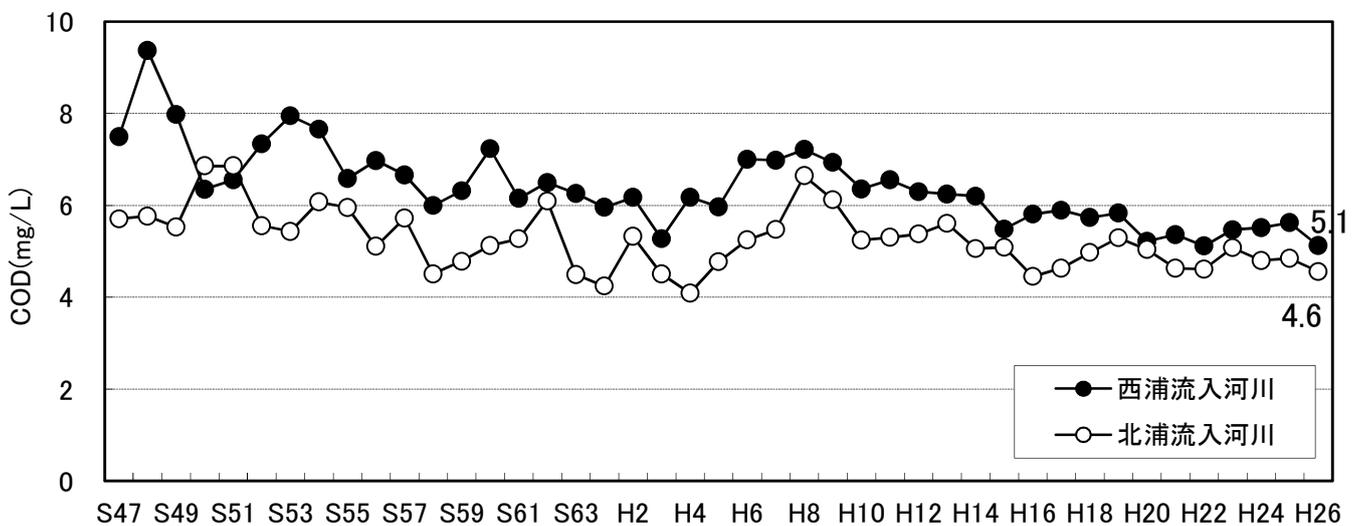


図5 流入河川のCODの推移（年間加重平均値）

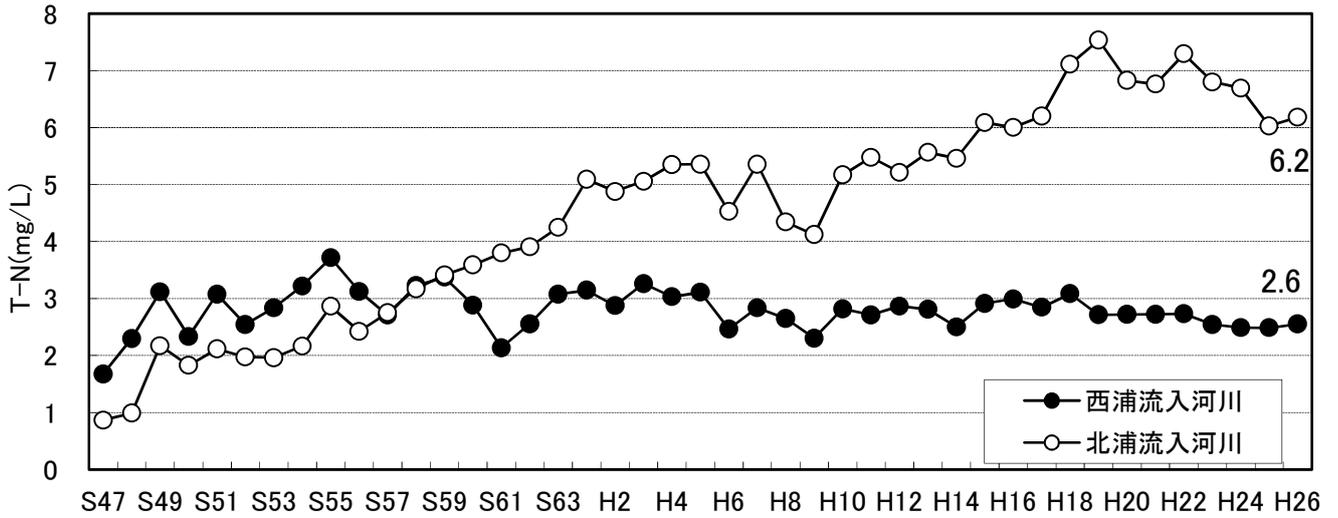


図6 流入河川の全窒素の推移（年間加重平均値）

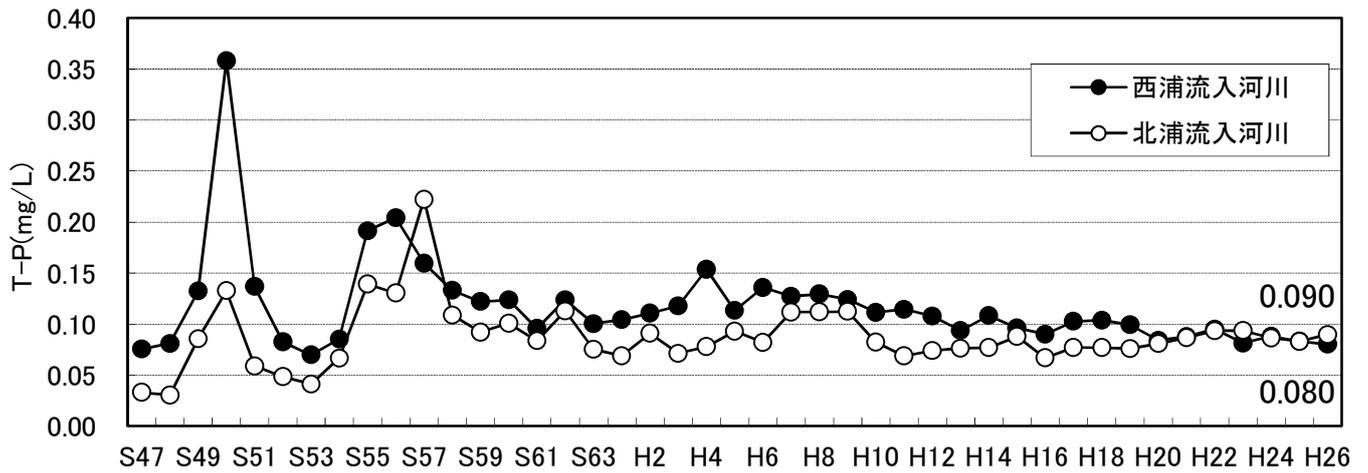


図7 流入河川の全りんへの推移（年間加重平均値）